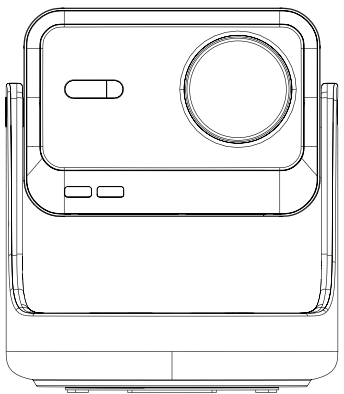
REGZA

取扱説明書・保証書(裏表紙)

レーザープロジェクター

形名　RLC-V7R/RLC-V7R MAX



★ インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービスや、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。

：：必ず最初に「安全上のご注意」 5 をご覧ください。

：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときには」 53 をご覧ください。

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのプロジェクターを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- スマートフォン・タブレットを使うと、操作しながらご覧いただけて便利です。

レグザ取扱説明書ダウンロードページ
RLC-V7R/RLC-V7R MAX取扱説明書

RLC-V7R：https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100132&sid=1
RLC-V7R MAX：https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100133&sid=1
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

◆ご登録をお願いします◆ お客様登録サイト<レグザ メンバーズ> <LINE 公式アカウント>

<レグザ メンバーズ>

「レグザ メンバーズ」は、
映像商品のお客様登録サイトです。

ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※Web限定のサービスです。

https://store.regza.com/members/

<LINE 公式アカウント>

基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認は、LINEでもお問い合わせいただけます。

※ WEBサイト、メールでのお問い合わせについては66をご覧ください。

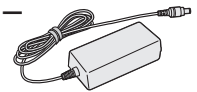
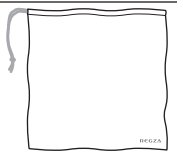
最初に確認してください

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- 外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
リモコン 単四形乾電池 	リモコン 1 個 乾電池 2 本
電源コード 	1 本

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

付属品/名称	付属数
ACアダプター  HKA18036050-6C	1 個
収納用布ポーチ 	1 個
取扱説明書（本書）	1 部

もくじ

安全上のご注意 5

準備・接続をする

各部のなまえ 18
プロジェクターを設置する 21
外部機器を接続する 22
インターネットを利用するための接続をする 27
リモコンの準備をする 30

プロジェクターをつかう

基本操作 33
ソフトウェアを更新する 45
使用上のお願いとご注意 46
お手入れについて 51

困ったときには

こんな場合は故障ではありません 53
症状に合わせて解決法を調べる 53

さまざまな情報

ライセンスおよび商標などについて 54
本製品のご利用に関する重要なお知らせ 56
仕様 64
保証とアフターサービス 66

お知らせ

- この取扱説明書は、RLC-V7R ／ RLC-V7R MAXで共用です。記載しているイラストはRLC-V7R MAXのものです。本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の表示画面は変更される可能性があります。
- 当社サポートサイト(https://www.regza.com/support)の「取扱説明書(マニュアル)ダウンロード」には最新の取扱説明書を掲載しており、製品発売後に追加公開された説明資料が掲載される場合もありますので、本書でお探しの情報が見つからないときは、合わせてご確認ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷*1を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）

禁　止　禁止（してはいけないこと）を示します。

指　示　指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

注　意　注意を示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、焦げ臭いにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 投写画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ ファンが動かないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ ACアダプターが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない



禁　止

プロジェクターが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。
多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- 本機を安全に保持できる台などの専用の家具を使用する。
- 本機は設置する台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- 背の高い家具（食器棚や本棚など）の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- 本機と本機を設置する台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置した台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がプロジェクターを設置した家具によじ登らないように注意する。
- プロジェクターの上やプロジェクターの置かれている家具の上に、子供がよじ登りたくなるようなもの（玩具やリモコンなど）を決して置かない。
- プロジェクターに接続するコードやケーブルを引っ掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。

これまで使用していたプロジェクターを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。
台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない



振動禁止

振動でプロジェクターが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない



金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 電源コードのコネクターは、ACアダプターの電源入力端子に確実に差し込む



差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

■ 電源プラグのアース端子は、必ずアースに接続する



接続しないと感電の原因になることがあります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

■ 転倒・落下防止の処置をする



転倒・落下防止の処置をしないと、プロジェクターの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。

■ 天吊りで使用するとき



●専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない

落下してけがの原因となりますので、お客様による設置は絶対に行わず、必ず販売店にご依頼ください。

●振動する場所への天吊り設置はしない

振動により取付部分が破損し、落ちたりしてけがの原因となります。

●ぶらさがったり、ゆすったり、物をひっかけたりしない

過度の荷重がかかると、落ちたりしてけがの原因となります。

■本機を天井に固定するときは

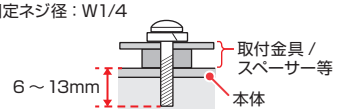


一般的注意

天吊り金具環境の不具合による製品の損傷などについては保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度には気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

・本機を天吊り金具に取付ける場合、トルクは 1.5N・m ～ 2.0N・mの範囲に設定してください。これ以上のトルクで締め付けると製品損傷により落下につながる危険性があります。
・旧モデルで使っていた天吊り金具を再度利用する際は、重量増や周辺スペースに問題ないか含めて専門業者にご依頼・ご相談ください。
・地震が発生したときなどの事故防止に必ず落下防止の処置をしてください。



・油や煙がかかる場所には設置しないようにしてください。
・機器の取り付けや調整時に、グリースやオイル類は使わないでください。
・製品を安全に使用するために、定期的に状態をチェックしてください。
・設置面がしっかりしていて、重さに耐えられるかを事前に確認してください。
・他の家電（照明・空調機器など）とは離して設置してください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ACアダプターのコード・電源コード・電源プラグは、



禁　止

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない


異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機・電源コードおよび本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない


禁 止

感電の原因となることがあります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する


指 示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する


指 示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない


禁 止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ ACアダプターは、本機の付属品を使用する


指 示

指定以外のACアダプターおよび電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。付属のACアダプターと電源コードは国内専用です。

■ 本機に付属されているACアダプターを他の機器に使用しない


禁 止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 無線機能を使用する場合は、心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本機を22cm以上離す


指 示

本機からの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

■ 無線機能は、病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない


禁 止

本機からの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

ACアダプターについて

■ 修理・改造・分解はしない



分解禁止

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしない



禁　止

火災・故障の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する



指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない


禁 止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない


禁 止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください。(20cm以上の間隔をあける)
押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。
テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
じゅうたんや布団の上に置かないでください。
あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない


禁 止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、


指 示

- **離れた場所に移動するときは、ACアダプター・機器との接続線を抜く**

抜かないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、プロジェクターが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

- **車(キャスター)付きの台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、プロジェクターを支えながら、台を押す**
プロジェクターを押したり、プロジェクターを支えていなかったりすると、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
プロジェクターが破損してけがの原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続線を抜く



ACアダプターを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因になることや、接続線などを外さずに運ぶと、本体が転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 車(キャスター)付きの台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないと台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ 本機の近くに時計などの磁気の影響を受けやすいものを置かない



正常に動作しなくなることがあります。

■ 台を使用するときは、



- 不安定な台を使わない
- 片寄った載せかたをしない
- 台の扉を開けたままにしない
- 耐荷重が本機の質量より軽い台を使わない
- 台の端からはみ出さない
- 本機と台の間には布など何も敷かない

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

■ プロジェクターや台にぶら下ったり、上に乗ったりしない


禁　止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体ボタンやリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合でも、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 高温部には触れない


高温注意

投写中は通風孔やその周辺部には触れないでください。やけどの原因となります。

■ 投写レンズに触らない


禁　止

お手入れには専門の技術が必要です。お手入れを行う際は必ず販売店にご確認ください。

■ 投写レンズを覗かない


禁　止

強い光が目にあたると視力障害の原因となります。

■ レーザー光を人や鏡に向けて放射しない


禁　止

目にレーザー光があたると、視力障害の原因となります。

■ 本書に記載されている操作方法、注意に従わない場合、レーザー光線にさらされる危険があります

■ レーザー光源について

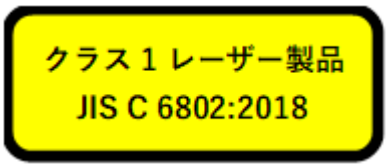


一般的注意

本機は、JIS C 6802：2018に適合したクラス1レーザー製品です。

また、本機の投写光は、IEC62471-5：2015に基づくリスクグループ2(RG2)に分類されます。

レーザー警告表示



注意：

・使用中はレンズをのぞかないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。

・リモコンを使ってプロジェクターを起動するときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。

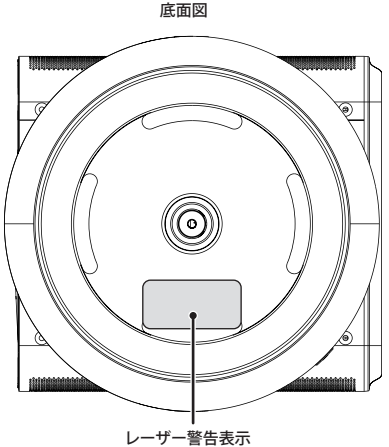
警告：記載されていない方法で制御や調整を行うと、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

・プロジェクターからの光線を見つめないでください。

・レンズの前にいる際、リモコンでプロジェクターを起動するときは、レンズからの光線に注意してください。

・レンズの前で双眼鏡や望遠鏡などの光学補助具を使用しないでください。

表示位置



■ ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 大音量で長時間聴き続けない



耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ リモコンに使用している乾電池は、



- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ プロジェクターの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない



薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります（詳しくは、以降の「お知らせ」をご覧ください）。

プロジェクターのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、プロジェクターが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがプロジェクターに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
プロジェクターのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ（ケミカルストレスクラック）の原因となるものもあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。お手入れのしかたは 51 をご覧ください。
（電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」46 をお読みください）

■ 3年に一度を目安に、内部の清掃をご相談ください

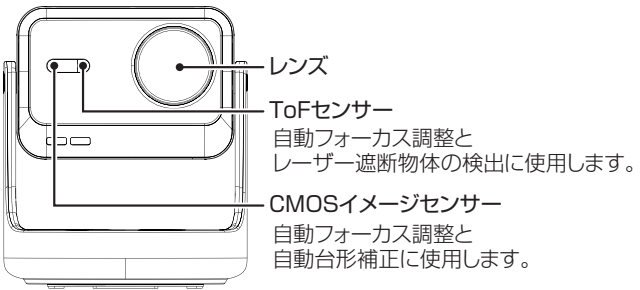


本体の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

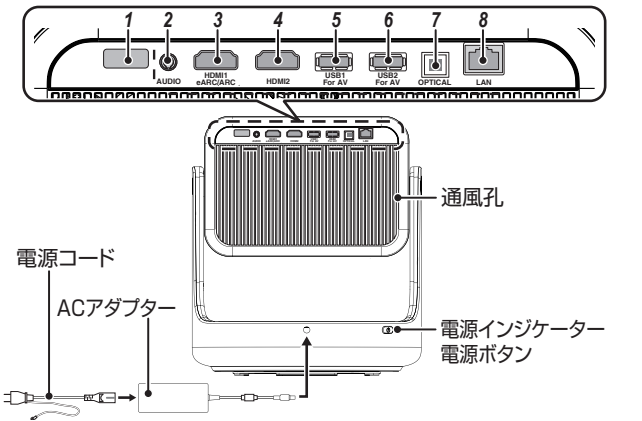
内部清掃のご依頼や費用については、お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

各部のなまえ

前面


レンズ
ToFセンサー
自動フォーカス調整と
レーザー遮断物体の検出に使用します。
CMOSイメージセンサー
自動フォーカス調整と
自動台形補正に使用します。

背面


1
2
3
4
5
6
7
8
AUDIO
HDMI1
eARC/ARC
HDMI2
USB1
For AV
USB2
For AV
OPTICAL
LAN
通風孔
電源コード
ACアダプター
電源インジケーター
電源ボタン

1. リモコン受光部
2. AUDIO
   ヘッドホンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
3. HDMI1 (eARC/ARC)
   映像機器やオーディオ機器を接続します。
4. HDMI2
   映像機器やオーディオ機器を接続します。eARC/ARC対応のオーディオ機器(オーディオシステム)はHDMI1（eARC/ARC)端子に接続してください。
5. USB1 For AV （AV周辺機器専用）
   USB機器を接続します。
6. USB2 For AV （AV周辺機器専用）
   USB機器を接続します。
7. OPTICAL
   光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器などに接続します。
8. LAN
   ホームネットワークやインターネットに接続します。

電源ボタン

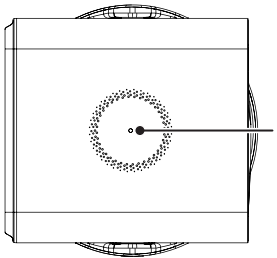
電源「待機」時
ボタンを押すと、電源「入」になります。

電源「入」時
ボタンを押すとシャットダウンメニューが表示されます。

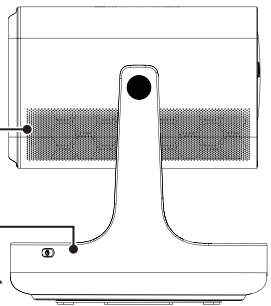
シャットダウンメニュー表示中
- ボタンを押して電源を選択してください。
- ボタンを長押しすると「待機」状態になります。
- 一定時間操作しないでいるとシャットダウンメニューが消えます。

天面・底面・側面

・天面

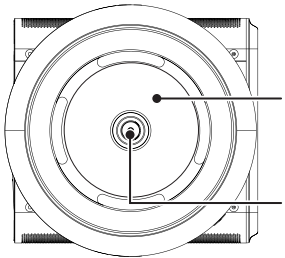


・側面



※ 振動板が露出していますので、触れないようにしてください。

・底面



プロジェクターを設置する

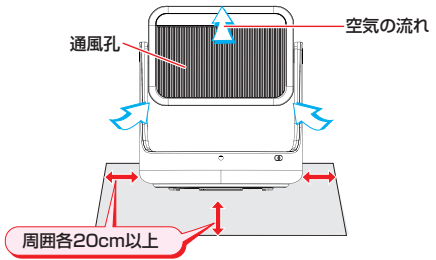
● 設置の前に「安全上のご注意」5 ～ 17 を必ずお読みください。

正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください

■ 周囲から離して置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に20cm以上の空間を設けてください。



■ 台を使用する場合

● 台の取扱説明書をご覧ください。

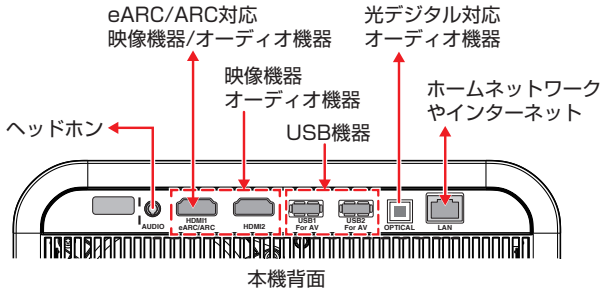
お願い

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

外部機器を接続する

外部機器接続例

- 接続が終わったら、設定メニューから必要な設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がeARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）やARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルは不要で、eARC/ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。



- 映像機器/オーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、HDMI1、HDMI2のどちらの端子にも接続できます。
  eARC/ARC対応機器の場合は、HDMI1端子に接続してください。

お知らせ

- 本機のHDMI入力端子は、4K映像機器にも対応しています。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- HDMI 4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。
- パソコンについて
  - 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号を入力してください（本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります）。
  - パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。

※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から4Kの映像信号（2160p）を入力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から4Kの映像信号（2160p 60Hz(10bit以上）および2160p 120Hz）を入力する場合は、ウルトラハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。

● 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。

接続ケーブル(接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル(入力用/eARC/ARC用) 	高画質 高音質	**デジタル映像信号** 480p、720p、1080i、1080p、2160p **デジタル音声信号(入力)** リニアPCM、Dolby Digital、 Dolby Digital Plus、Dolby Atmos Dolby TrueHD、dts、dts-HD **デジタル音声信号(eARC/ARC)** リニアPCM、Dolby Digital、 Dolby Digital Plus、Dolby Atmos、 Dolby TrueHD (eARCのみ)、 dts、dts-HD (eARCのみ)
オーディオ用光デジタルケーブル(出力用) 	高音質	**デジタル音声信号(光)** リニアPCM、Dolby Digital
ヘッドホン用コード 	標準	**アナログ音声信号**

● 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。

著作権保護について

● 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
対応HDCPバージョン：
HDCP1.4、HDCP2.3

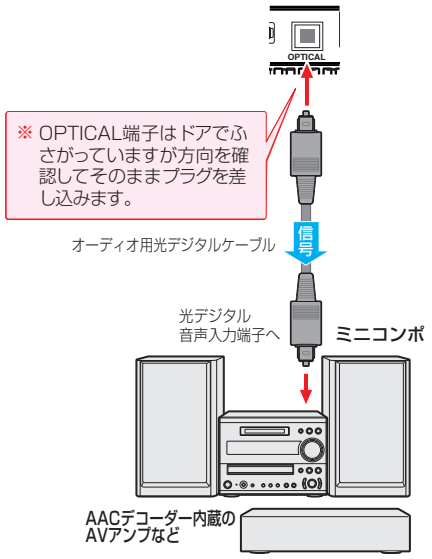
デジタル音声（光）端子付のオーディオ機器で聴くとき

● **ミニコンポなどのオーディオ機器（サウンドシステム）に接続するとき**

・ 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器（サウンドシステム）側で音量を調節してください。
・ オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタルオーディオ出力」の設定をします。

● **AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき**

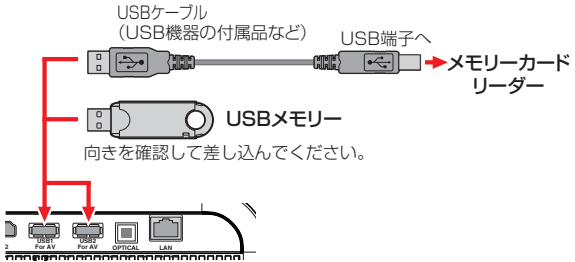
・ デジタル放送のAAC方式の信号を、AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
・「デジタルオーディオ出力」を「デジタルスルー」に設定します。



USB機器を接続する

- USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。

※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。



ご注意

- USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。

お知らせ

- ファイルフォーマットがFAT32のUSB機器に対応しています。

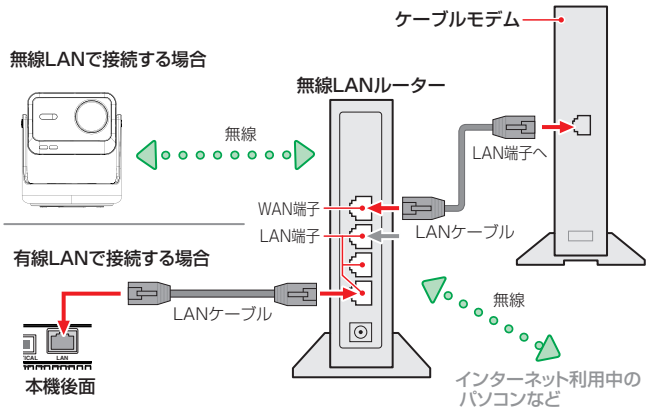
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じてネットワーク設定をしてください。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容
ネットワークサービス	● 動画配信サービスやクラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます。
ソフトウェアの更新	● サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます45。

接続のしかた



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

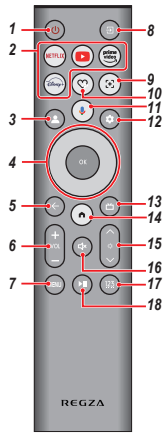
- LANケーブルは、カテゴリ5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルTV会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信でインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

リモコンの準備をする

各ボタンの機能



● 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです（ボタンによっては、通常の操作と異なる使い方をすることがあります）

1. 本機の電源を入/待機します。
2. 動画配信サービスの画面に切り換えます。
3. プロファイルを表示します。
4. メニュー、フォーカスなどで項目を選択/決定するとき、文字や数字を入力するとき、上下左右調整するときに使用します。メニューなどでページを切り換えるときに使用します。
5. 前の操作に戻ります。
6. 音量を調節します。
7. メニューを表示します。
8. 入力切換メニューを表示します。
9. フォーカスの調整を行います。
10. 外部入力や動画配信サービスなどを登録しておくと、登録した機能に切り換えられます。
11. Googleアシスタント機能を使用します。
12. ダッシュボードを表示します。
13. 外部入力画面を表示します。
14. ホーム画面を表示します。
15. 輝度を調節します。
16. 音を一時的に消します。
17. 数字を入力するときに使用します。
18. 再生操作を行うときに使用します。

乾電池を入れる

- 単四形乾電池を2本ご使用ください。お買い上げ時は単四形乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす

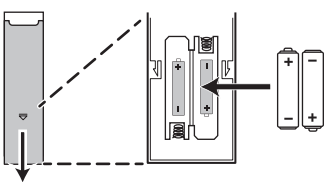
- 背面のカバーを下方向に押しながらスライドさせて、カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

- 極性表示 ⊕ と ⊖ を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める

- カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



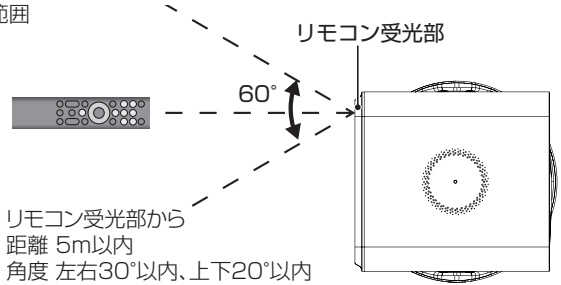
赤外線通信時のリモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- 電源が「入」のときに、リモコンで操作をすると、本体背面のLEDが白色に点滅します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。

ご注意

- 本機のリモコンの赤外線信号の一部は、当社製テレビと同じ信号コードを使用しており、当社製テレビと近い場所でご使用になられる場合、相互に反応してしまう場合があります。その場合はテレビ側のリモコンコードを変更してお使いください。テレビ側リモコンコードの変更方法については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

● 使用範囲



ご注意

■ リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

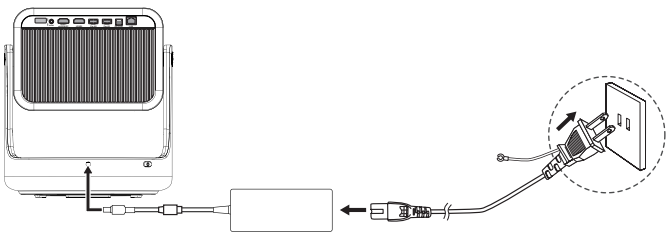
■ 乾電池について

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

基本操作

電源を入れる

- 電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。
- ACアダプターと電源コードを接続し、ACアダプターの端子を本機背面に接続します。
- 電源コードは、本機の付属品を使用してください。
- 電源プラグは交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源コードをコンセントに接続すると、電源「待機」になります。



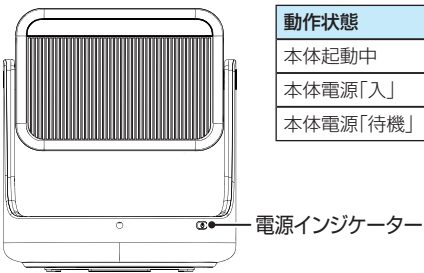
ご注意

アースについては以下を守ってください。

- **必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ**
- **電源プラグを抜いてから、アースを外す**

守らないと、発火・感電の原因となります。

1 **本体の電源ボタンを押す、またはリモコンの電源ボタンを押すと、電源「入」になります**



動作状態	インジケーターの状態
本体起動中	白色の点滅
本体電源「入」	消灯
本体電源「待機」	白色の点灯

自動フォーカス機能

プロジェクターを起動した際に自動でフォーカス調整を行います。
リモコンの ⚙ を押し、「プロジェクター設定」⇨「手動フォーカス調整」の順に進むと、手動で調整することができます。

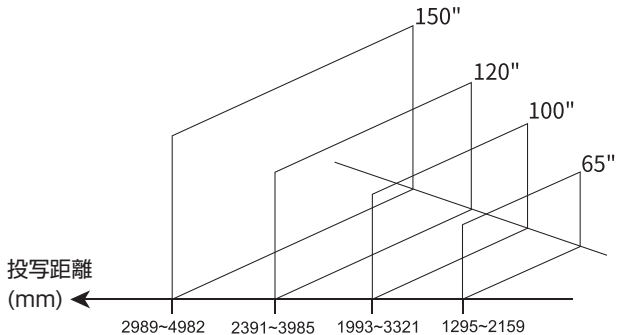
自動台形補正

プロジェクターを起動した際に自動台形補正を行います。
自動台形補正が上手くいかない場合は、
リモコンの ⚙ を押し、「プロジェクター設定」⇨「手動台形補正」の順に進むと、手動で調整することができます。

その他の設定

リモコンの ⚙ を押して表示される設定メニューから、各種の設定を変更することができます。

投写画面サイズと投写距離について



ご注意

- 投写画面サイズが150″ を超えると、自動フォーカス機能と自動台形補正機能が動作しなくなり、手動調整が必要になる恐れがあります。
- 使用環境によって、最適な投写距離が異なる場合があります。

投写画面サイズ 対角(型) / 投写距離	150″	120″	100″	65″
mm	2989～4982	2391～3985	1993～3321	1295～2159
inch	118～196	94～157	78～131	51～85

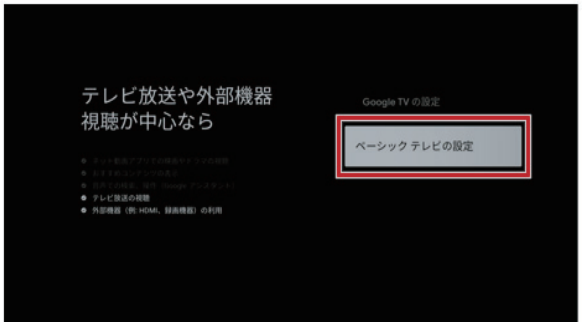
Google TV とベーシックテレビの設定

本機単体で映像を視聴する設定を行います。

Google TV：
- ネット動画アプリなどのアプリケーションのインストール/更新
- ホーム画面でのおすすめ動画コンテンツの表示



ベーシックテレビ：
- プリインストールされているアプリのご利用
  ※インターネット接続が必要なアプリがあります。
- 接続した外部入力機器の画面に切り換えます



ホーム画面について

リモコンの を押して表示されるホーム画面からは、表示の切り換えやアプリの選択が出来ます。

アカウント情報
使用しているGoogle アカウントの情報や検索、設定が行えます。

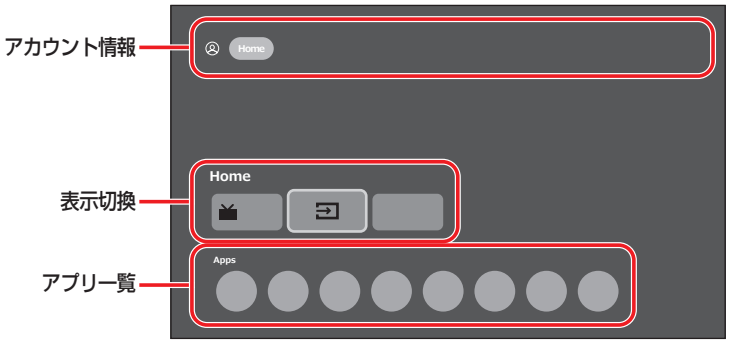
表示切換
画面に表示する映像ソースを切り換えます。

：　本機に接続した外部入力機器からの映像に切り換えます。

：　入力切換メニューを表示します。

：ダッシュボードを表示します。

アプリ一覧
本機にインストールしたアプリを使用する場合に選択します。

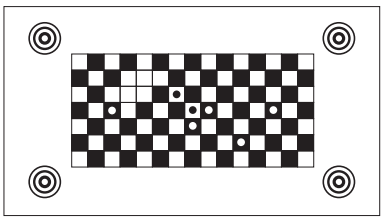


表示を調節する

自動台形補正

プロジェクターを設置した際、間取りや広さ、家具の位置などの関係で、投影先の正面になるように設置できない場合があります。 斜めからの投影になると、プロジェクターの映像は台形に歪んでしまいます。
自動台形補正は、投影時に自動でプロジェクターの映像を調整します。

1 リモコンの ⚙ を押し、「プロジェクター設定」⇨「自動台形補正」の順に進む

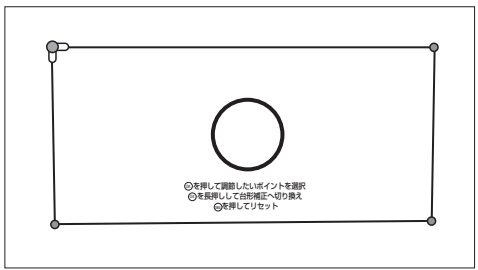


手動台形補正

自動台形補正では調整しきれなかった場合や、自動台形補正が利用できない場合などは、手動で台形補正を行います。

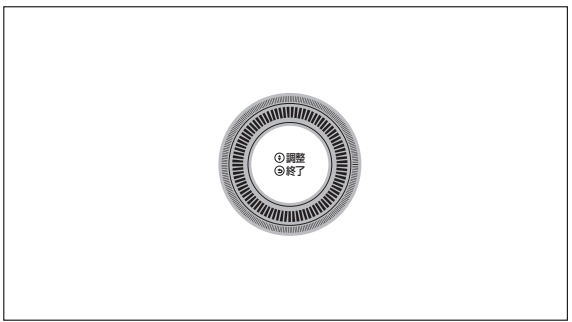
1 リモコンの ⚙ を押し、「プロジェクター設定」⇨「手動台形補正」の順に進む

2 上下左右ボタンで調節する



フォーカス調整

- 本機はプロジェクターを起動した際に自動でフォーカス調整を行います。
- フォーカスがあっていない場合は、リモコンの [+] を押すと、自動フォーカス調整をおこないます。
- 自動フォーカス調整でも十分にフォーカスが合わない場合は、さらに手動で上下左右キーの操作でフォーカス調整することもできます。



Bluetooth®設定をする

- 本機でBluetooth®機器を使用する設定をします。Bluetooth®で接続することで、Bluetooth®オーディオ機器が使えるようになります。

Bluetooth®機器を使用する

- Bluetooth®を利用するかしないかの設定をします。

1 リモコンの ⚙ を押し、「リモコンとアクセサリ」⇨「Bluetooth」の順に進む

2 「オン」または「オフ」に切り換える

- 「オフ」にするとボイス機能や「Bluetooth機器一覧」に登録されているデバイスが無効になり、使用できません。

お好みの映像メニューを選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。

リモコンの ⚙を押し、「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進むと各種の映像設定が行えます。

● 映像モードは、以下の7つから選択できます。

ダイナミック： 日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。

標準： 室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）。

スポーツ： スポーツを楽しむときに適した設定です。

PC/ゲーム： ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。

節電： 節電モードです。暗くなります。

映画： 映画を鑑賞するときに適した設定です。

FILMMAKER MODE： 映像製作用モニターに近い設定です。

音声について

AVアンプなどのオーディオ機器がeARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）やARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、eARC/ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。

リモコンの⚙を押し、「音声」⇨「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進むと、各種の音声設定が行えます。

Googleアシスタントを使う

リモコンの ボタンを押して話しかけるだけで、お気に入りの動画コンテンツを探して再生※1したり、調べ物をしたり、スマート デバイス※2を操作したりできます。

※1 一部のサービスでは有料会員登録が必要な場合があります。
※2 対応デバイスが必要です。

ご注意

- インターネット接続が必要です。Google アシスタントは、一部の国や言語ではご利用いただけません。

ネットワークサービスの利用を制限する

- 本機には、お子様などに見せたくないインターネット上の映像等の視聴を制限するための機能が組み込まれています。
- お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、Google TVのお子様用プロフィールの利用をお勧めします。

目の自動保護機能

リモコンの を押し、「プロジェクター設定」⇨「目の自動保護機能」の順に進むと、保護モードを設定できます。

- 保護モードは、以下の3つから選択できます。

※ RLC-V7Rはオフのみです。

オフ： 自動保護機能をオフにします。
明るさを落とす： レーザーから目を守るために、レーザーを遮断する物体があると、プロジェクターは自動的に明るさを落とします。
表示を止める： レーザーから目を守るために、レーザーを遮断する物体があると、プロジェクターは自動的に表示を中断します。

※ 動いているもの（扇風機やカーテンなど）に反応する場合があります。

AirPlayとHomeKitを利用する ※

AirPlayを使用する

AirPlayを使用して、お使いのiPhone、iPadやMacの音声や映像コンテンツを本機とワイヤレスで共有できます。音楽や映像をストリーミングしたり、写真を共有したり、デバイスの画面をそのままミラーリングできます。

1 Appleデバイスが本機と同じネットワークに接続されていることを確認する

2 本機のAirPlayをオンにする

- リモコンの⚙を押し、「すべての設定」⇨「システム」⇨「Apple AirPlayとHomeKit」の順に進め、「AirPlayとHomeKitの設定」で、AirPlayを「オン」に設定します。
- ホーム画面の⮕を選択するか、リモコンの⮕を押して入力切換メニューを表示し、AirPlayを選択します。

3 Appleデバイス上で対応しているメディアアプリでAirPlayアイコン、またはAppleデバイスのコントロールセンターからスクリーンミラーリングをタップする

- コンテンツによっては、これらの手順が異なる場合があります。
- お使いのデバイスの画面をミラーリングするには、コントロールセンターを開いて画面ミラーリングのアイコンをタップしてください(▭)。
- AirPlayに対応している音楽アプリやポッドキャストアプリから音声をストリーミングするには、AirPlay Audioのアイコンをタップしてください(◉)。
- AirPlayに対応しているアプリから映像をストリーミングするには、AirPlay Videoのアイコンをタップしてください(▭▲)。

4 リストから本機を選択し、AirPlayを開始する

※ AirPlayとHomeKit機能の利用には、インターネットにアクセスして機能を有効化する必要があります。通常、機能の有効化は自動的に行われます。

HomeKitを使用する

お使いのAppleデバイスから、HomeKitを使って、簡単で安全に本機を操作できます。

1 ⚙を押し、「すべての設定」⇨「システム」⇨「AirPlayとHomeKit設定」の順に進め、HomeKitセクションから「設定」を選ぶ

- 「HomeKitを設定」画面にペアリング用の二次元バーコードが表示されます。

2 iPhoneやiPadなどで、画面の二次元バーコードをスキャンし、画面の手順に従ってHomeKitの設定を完了する

お知らせ

- AirPlay を使用するには、本機が AirPlay をサポートしている必要があります。
- アイコンは参考です。アプリによっては、別のアイコンを最初にタップする必要がある場合があります。
- テレビ画面に AirPlay パスコードが表示された場合は、Appleデバイス側でパスコードを入力して続けてください。
- AirPlayの使用を停止するには、外部デバイスを切断するか、←を押してください。
- ビデオまたはオーディオを再生中に、リモコンのMENUを押して「消画」を選択すると、ビデオまたはオーディオを再生したまま画面をオフにできます。
- アプリやソフトウェアのバージョンにより、操作が異なる場合があります。
- Use of the Works with Apple badges means that an accessory has been designed to work specifically with the technologies identified in the badges and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple, AirPlay, Apple Home, HomeKit, iPad, iPhone, and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.





お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻す方法です。
すべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※ この初期化は、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1 **リモコンの⚙を押し、「⚙ すべての設定」⇨「システム」⇨「デバイス情報」⇨「リセット」の順に進む**
2 **「出荷時設定にリセット」を選び、【OK】を押す**

ソフトウェアを更新する

新しいソフトウェアがあるかどうか確認します。
新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。
更新の指示通り進むと、アップデートを行いますので、しばらくおまちください。

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(https://www.regza.com/support) でお知らせしています。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグやACアダプターを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(HDMI入力1 ～ 2)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時に調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。

❶ 本体の電源ボタンを長押しして電源を待機にする

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

遠隔操作について

- リモコンからプロジェクターを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

4K映像の表示について

- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

本機の無線LAN/Bluetooth®を使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN/Bluetooth®）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 無線LANの2.4GHz帯とBluetooth®は同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると、電波が干渉し合い通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANを5GHz帯に設定してお試しください。
- 本機の無線LANおよびBluetooth®が使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANやBluetoothを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル（通話料：無料）

0120-97-9674

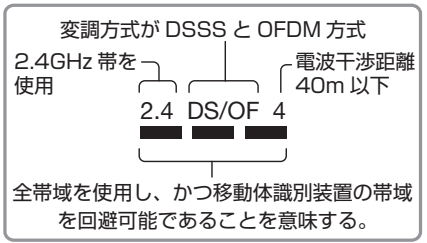
【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル（通話料：有料）

0570-05-5100

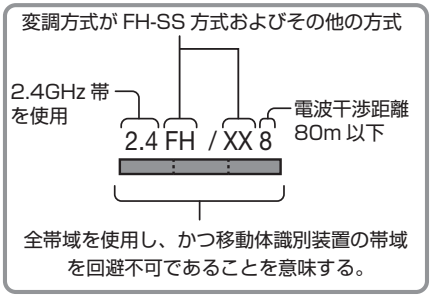
※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。

• **無線LAN：**



• **Bluetooth®：**



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n/ax			
IEEE802.11a/n/ac/ax			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE 802.11 b/g/n/ax		1～13	2.412～2.472GHz
IEEE 802.11 a/n/ac/ax	W52	36,40,44,48	5.15～5.25GHz
	W53	52,56,60,64	5.25～5.35GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140	5.47～5.73GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：
  無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/ac/axの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗する場合があります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。
- 本機のBluetooth®は、以下の規格を使用しています。
  規格：
  Bluetooth Specification Ver.5.3
  周波数帯　　：2.4GHz帯
- Bluetooth®の性能や環境条件による影響など：
  - Bluetooth®は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機は、USB接続のBluetooth®アダプターには対応していません。本機のUSB端子にUSB接続のBluetooth®アダプターを接続した場合、内蔵のBluetooth®が正常に動作しなくなる場合があります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。
  - **通信内容を盗み見られる**
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
    - IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
    - メールの内容

    などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
  - **不正に侵入される**
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
    - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
    - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
    - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
    - コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

    などの行為をされてしまうおそれがあります。
- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
  セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

電波妨害について

- 本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器を本機に近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「出荷時設定にリセット」45 で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は関与いたしません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は関与いたしません。
- 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。
- 故障・修理のときなどに、本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

⚠注意

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**
感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットが溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットの表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がプロジェクターの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がプロジェクターの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

キャビネットのお手入れ

1. **キャビネットに付着しているゴミ、ホコリを払う**
   - 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。
   - ※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。
2. **乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る**

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。

※ 手に水滴がついているときは、プロジェクターに触れる前にふき取ってください。

3. **お手入れのときはキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。**

冷却ファンについて

- 本機には内部で発生した熱を外部へ逃がすために冷却用ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がってしまうと放熱が不足し故障の原因となりますので、本機の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。
- 本機の冷却ファンは、機器内部の温度に応じて自動的にファンの回転数を調整します。運転中にファンの運転音が変化する場合がありますが、故障ではありません。

こんな場合は故障ではありません

キャビネットからのにおい

- ご購入から間もない時期は、使用時の本機の温度上昇によって、ごく稀にプラスチックの成型後に発生する樹脂臭を感じることがありますが、しばらくご使用いただくことで解消されます。煙が出るなどの異常がなければ心配ありません。

症状に合わせて解決法を調べる

- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

プロジェクターが操作できなくなったとき－本機をリセットする

- リモコンでもプロジェクターの本体ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 1分間以上待つ
3. 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

ライセンスおよび商標などについて



この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Vision及びDolby Audioはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-2024年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



FOR DTS PATENTS, SEE HTTP://XPERI.COM/DTS-PATENTS/. MANUFACTURED UNDER LICENSE FROM DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. DTS, DTS:X, THE DTS:X LOGO, VIRTUAL:X, AND THE DTS VIRTUAL:X LOGO ARE REGISTERED TRADEMARKS OR TRADEMARKS OF DTS, INC. AND ITS AFFILIATES IN THE UNITED STATES AND/OR OTHER COUNTRIES. © DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. ALL RIGHTS RESERVED.



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



Manufactured under license from IMAX Corporation. IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation in the United States and/or other countries. For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

- 

HDR10+™ logoは、HDR10+ Technologies, LLC.の商標です。

- 

- Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG,Inc.の登録商標または商標です。
- 「Netflix」はNetflix, Inc.の商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。
- Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Apple、AirPlay、Apple Home、HomeKit、iPad、iPhone、Macは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用しています。
- DLP®およびDLPロゴは、テキサス・インスツルメンツの登録商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

本製品のご利用に関する重要なお知らせ

ソフトウェア等利用規約

【はじめに】

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の利用を開始される前に、必ずこのソフトウェア等利用規約（以下、「本規約」といいます。）をお読みください。なお、お客様（以下、「利用者」といいます。）による本製品の利用開始をもちまして、本規約の内容を十分にご理解いただき、また本規約の内容に同意したものとさせていただきます。

本規約は、利用者とＴＶＳ　ＲＥＧＺＡ株式会社（以下、「当社」といいます。）との本製品又は本製品に含まれるソフトウェア（当社が利用許諾を受けている第三者（以下、「原権利者」といいます。）のソフトウェアを含みますが、これに限られません。なお、本規約とは別のソフトウェア利用条件が定められているソフトウェアも本製品に含まれますが、このようなソフトウェアの利用条件に関しては後述します。本製品に含まれるソフトウェアを、以下、「本ソフトウェア」といいます。）の利用に関する条件について規定する契約です。なお、本規約は、これらに加え、本製品に同梱される印刷物やオンラインで提供される情報も対象としております。

万が一、本規約にご同意いただけない場合、本製品に含まれるソフトウェア又はコンテンツサービス（以下、「本ソフトウェア等」といいます。）をご利用いただくことはできませんので、本製品の利用を開始する前に本製品の返品等について、当社までお問い合わせ下さい。また、当社の提供するコンテンツまたはコンテンツサービス（以下、「当社サービス」といいます。）に関するプライバシーポリシー（以下、「当社プライバシーポリシー」といいます。）に同意いただけない場合、本ソフトウェア等の利用に関し一部制限がかかる場合があります。なお、本規約又は当社プライバシーポリシーは、当社の判断により、適宜変更されることがありますので、予めご了承ください。本規約及び当社プライバシーポリシーについては、本規約又は本製品の「設定」内の「システム」>「デバイス情報」>から「法的情報」>「EULAとプライバシー」>「エンドユーザー使用許諾契約」をお選びいただくと、ご覧いただけます。

【第1条　インターネット接続環境又は第三者サービス等】

(1)本製品は、当社サービス又は当社以外の第三者コンテンツプロバイダー（以下、「第三者プロバイダー」といいます。）から提供されるソフトウェア、動画、画像、文書、音声その他一切のコンテンツサービス（以下、「第三者サービス」といいます。）へのアクセスを可能にする機能を搭載しておりますが、この機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要となっております。当社サービス又は第

三者サービス(以下、併せて「本サービス」といいます。)へのアクセス速度やサービスの品質、画質、利用可能な画像サイズその他一切のサービスは、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境(インターネットサービスの性能、回線容量等を含みますが、これに限られません。)又は第三者サービスの配信環境に依存します。

(2)インターネットプロバイダーを含むインターネットサービス事業者への接続料等の支払いについては、利用者が責任を負うこととします。また、本サービスの品質については、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境に依存するものとなります。

(3)第三者サービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるサービスであり、当該第三者プロバイダーの提示する条件に基づいて提供されており、当社は第三者サービスには関与していません。第三者サービスについては、第三者プロバイダーが定める条件に従ってご使用ください。
　第三者サービスに起因する損害および一切の送受信に関する事項(送受信の非適時性、送受信データの消失、エラー又は不保存を含みますが、これに限られません。)について、当社は一切関与いたしません。

(4)インターネットを利用した情報の送受信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送受信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

【第2条　本ソフトウェア等又は本サービスの取扱い】
(1)本ソフトウェア等は、衝撃耐性を有していないため、本ソフトウェア等の欠陥や誤作動により、利用者又は第三者の生命、身体、財産等に物理的な損害を与えるような環境下ではご使用いただくことはできません。
　本ソフトウェア等は、暗号化技術を含んでいるものもあります。暗号化技術を含むソフトウェア又はコンテンツは、輸出入に関する法律、規則、又は政府による許認可の対象となる可能性があり、利用者は、このような法律、規則、許認可又は条約等一切の規律を順守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む本ソフトウェア等は、政府関係機関又は外国政府による使用を意図しておりません。

(2)本サービスは、利用者の私的利用の範囲内で利用されるものであり、レンタルや入場料又は視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に利用することは禁止されております。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに関する一切の行動(本サービスへのアクセス、閲覧、利用等を含みますが、これに限られませ

ん。)について、自ら責任を負い、合法的な目的においてのみ、本ソフトウェア等又は本サービスを利用することができます。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービス又はこれらの複製について、商用的又は公共的目的のために、販売、交換、修理又は送信することはできません。また、利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに係る動作を停止させ、又は停止を試みてはなりません。

(3)本サービスは、現状有姿のまま何らの保証なく提供されるものとします。当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、本ソフトウェア等又は本サービスについて、何らの保証(利用者の要求を満たすこと、本ソフトウェア等又は本サービスが中断なく稼働し不具合のないこと、第三者から侵害されないこと、利用者にとって有用であり合目的性があること、正確性や信頼性があること等を含みますが、これに限られません。)も行いません。また、当社又は当社代表者や役員等からの一切の情報の提供は、改めて当社による保証を生じさせるものではなく、本規約上の保証に関する条項を変更させるものではありません。さらに、本サービスの内容は、適宜変更されることがあり、またサービスそのものが終了することもありますので、あらかじめご了承ください。

(4)本ソフトウェア等又は本サービスは、バグの修正、機能の改善、セキュリティー機能の強化等の目的で、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、事前の通知なく、適宜、アップデート等の修正(以下、単に「修正」といいます。)がなされることがあり、この修正の適用を本ソフトウェア等の継続的な使用の条件にすることもあります。このような修正により、利用者が利用している本ソフトウェア等又は本サービスの機能が変更され、又は一部削除される可能性があります。

(5)利用者は、本規約で明示的に定められたもの以外の目的で、本ソフトウェア等を利用することはできません。本ソフトウェア等は、本規約に基づいて、本製品においてのみ、利用が許諾され、また利用が可能となりますが、利用者に譲渡されるものではありません。また、本ソフトウェア等は、データを自動作成することがありますが、かかるデータは本ソフトウェア等の一部とみなします。利用者は、当社の同意なく、本ソフトウェア等の一部を本ソフトウェア等から分離して利用してはならず、また本ソフトウェア等の一部又は全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルしてはならず、さらに本ソフトウェア等を譲渡、貸与又はリースしてはならないものとします。

(6)利用者は第三者に対して、当該第三者が本規約の全条項に同意することを条件とし、本製品の譲渡に伴う本ソフトウェア等の一切(本ソフトウェア等のあらゆるアップデート又はバージョンに係る構成

部分、媒体、印刷物若しくはその複製が含まれますが、これに限られません。）又は本規約上の地位を譲渡することができますが、当社又は原権利者は、本規約上利用者に許諾されていない全ての権利を留保しております。

(7)当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、利用者に事前の通知なく、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、本ソフトウェア等又は本サービスの全て又は一部を、一次的又は恒久的に変更、中止、終了又は削除することがあります。当社は、かかる変更、中止、終了又は削除によって利用者に何らかの損害が生じたとしても、責任を負いません。また、利用者が本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、本規約の履行を強制し、又は不履行を是正するため、あらゆる法的又は技術的な対策（利用者の本ソフトウェア等又は本サービスへのアクセス権限の即時停止等を含むが、これに限られない。）をとることができることとします。

【第3条　本製品の取扱い等】

(1)本製品又は本ソフトウェア等には、本規約だけでなく、本規約とは別のソフトウェア利用条件に従っていただくもの（以下、「一部ソフトウェア」といいます。）が含まれます。一部ソフトウェアには、オープン・ソース・イニチアチブ（ＯＳＩ）によりオープンソースライセンスと認められたソフトウェアの他、それに代替する類似のソフトウェアライセンス（頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にしなければならない等の頒布条件の付されたものが含まれますが、これに限りません。）が適用されるソフトウェアもあります。一部ソフトウェアに適用される個々の条件は、本規約又は本製品の「設定」内の「システム」>「デバイス情報」>「法的情報」からお選びいただくと、ご覧いただけます。なお、一部ソフトウェアに適用されるライセンスの条件は、当該一部ソフトウェアにおいて求められる限度において、本規約に代わって適用されるものとし、本規約の内容が、一部ソフトウェアに適用されるライセンスによって禁止されている場合、その限度において、当該本規約の内容は、当該一部ソフトウェアに適用されないものとします。当社は、一部ソフトウェアに適用されるライセンスに求められる限度において、本ソフトウェア等のソースコードを提供することとします。

(2)本製品又は本ソフトウェア等には、ジェネラル・パブリック・ライセンス（ＧＰＬ）又はグヌー・レッサー・ジェネラル・パブリック・ライセンス（ＬＧＰＬ）の適用を受けるソフトウェアが含まれます。これらのソースコードをご覧になりたい場合は、当社ホームページにて「Linuxに関するお問い合わせ」からお問い合わせください。
　ただし、エンド･ユーザー･ライセンス･アグリーメント（ＥＵＬＡ）に同意することを条件として提供される一部ソフトウェアには、著作権者又は当社を含む第三者の保証がないことを前提に、利用者が

自身の判断で利用することが認められているものもあります。この場合、当該一部ソフトウェアは無償で利用者に利用許諾されますが、当該一部ソフトウェアの保証（市場性や特定目的適合性に関する黙示の保証も含まれますが、これに限りません。）は適用されず、当該一部ソフトウェアは、現状のまま提供されることとなりますので、利用者は、当該一部ソフトウェアの品質や性能に関する責任を負うこととなります。また、当該一部ソフトウェアに欠陥が確認された場合、修理等に伴う費用やそれに派生する費用について、当社は責任を負いません。また、著作権者やその許諾を受けて当該一部ソフトウェアの変更、再頒布をなし得る者は、法令の定め又は書面による合意がない限り、当該一部ソフトウェアを使用したこと又は使用できないことに起因する損害（データ自体又は正確性の消失、利用者又は第三者が被った損害、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等の通常損害、特別損害、間接損害、偶発損害等の損害が含まれますが、これに限られません。）について、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合であっても、責任を負いません。当該別途ソフトウェアの利用条件等の詳細については、各ＥＵＬＡをご参照ください。

【第4条　本サービスに対する姿勢】

本製品を通じた本サービスの提供は、当社が本サービスを推奨していることを意味するものではありません。本サービスには広告物を含むことがありますが、同広告物は本サービスを提供するのにやむを得ず掲載等をしているものもあります。なお、当社又は第三者プロバイダーは、同広告物やコンテンツが正確性を有していること、適法であること、信頼に足りるものであることを保証するものではありません。

また、本サービスの一部は、年少者又はそれに準じる者に対して適切でないものも含まれます。そのようなサービスは、年齢制限が指定されているものもあれば、そのような指定がされていないものもありますが、そのようなサービスの利用については利用者自らの判断と責任で行っていただくこととなります。そのため、年少者による本サービス全般の利用について、利用者による監視監督が必要な場合があります。なお、利用者が未成年であれば、次のいずれかのサービス又はそれに類するサービスを利用する前に、親権者等の法定代理人の同意を得る必要があります。

・当社にメッセージその他一切の情報を送る行為
・ゲームまたは懸賞等に参加する行為
・グループ又はチャットルームに参加し、若しくは掲示板へ投稿する行為
・物品又はサービスを購入する行為

なお、当社は、新規又は既存の当社サービスの利用について、課金を要するような変更を加える権利を留保します。利用者の同意なく一方的に課金されることはありませんが、利用者が課金に同意しない場合、利用者は当社サービスの内課金対象となったサービスを利用できないことがあります。

【第5条　アカウント等の機密保持等】

利用者は、当社又は第三者プロバイダーにより、本ソフトウェア等又は本サービスの利用にあたってユーザーアカウント又はパスワード(以下、「アカウント等」といいます。)の作成又は更新を求められることがあります。利用者は、自らの責任のもとで、アカウント等の機密性を保持することとし、このような機密性の保持については、利用者が一切の責任を負うものとします。

利用者が本規約に従って本製品を返品、譲渡し、又は本規約が解除される場合、利用者は、本製品を通じてアクセスし取得したアカウント等を消去し、本製品をすべて初期化して購入時の状態に戻すこととします。

【第6条　当社による情報の利用等】

当社は、利用者が提供した一切の情報(提供方法の如何を問わず、またコメント、メッセージ、質問及び回答、提案その他一切のデータを含みますが、これに限られません。以下、「利用者情報」といいます。)は、すべて機密情報又は利用者に専属的に帰属する情報でないものとして取り扱います。そのため、当社による利用者情報の利用は、利用者のいかなる権利(所有権又は著作権、著作者人格権等の知的財産権等を含みますが、これに限られません。)も侵害したことにならず、また、すべての利用者情報は、地域の限定なく利用(複製、開示、放映、上演、出版、販売、送信、公表、翻案等を含みますが、これに限られません。)される可能性があります。また、利用者は、すべての利用者情報に関する権利等を当社に譲渡することとし、当社は、利用者に対価を支払うことなく、利用者情報に含まれるアイデアや技術等の知的財産権を自由に利用することができるものとします。なお、当社が利用者情報を取得しても、利用者情報又はそれに含まれる知的財産権を利用する義務を負うものではありません。

なお、インターネットを利用した情報の送信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

【第7条　第三者プロバイダーによる情報収集等】

第三者プロバイダーにより、第三者サービスを通じて、利用者に関する情報が収集されることがありますが、当社は責任を負うものではありません。第三者プロバイダーによる情報収集については、当該第三者サービスに関するプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

【第8条　知的財産権の取扱い】

本サービスは、知的財産権に関する条約、法律又は規則等により保護されています。本サービスの利用を認めることは、当社、原権利者又は第三者プロバイダーが、利用者に対して、保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他これらに類するものに関する権利を譲渡又は利用許諾するものではありません。本サービス又は本サービスの複製に関する一切の権利は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに帰属するものとし、本規約において明示的に許諾されていない一切の権利についても同様とします。

【第9条　本規約の改定】

本規約は、当社の判断（利用者が本規約に違反したことを含むが、これに限られない。）により、適宜、変更、追加又は削除されることがあります。いずれの場合も、利用者には、その実施後に通知（本ソフトウェア等によって行われます。）されますが、当該通知があった以降、利用者が本ソフトウェア等又は本サービスを利用することをもって、変更、追加又は削除された新たな契約内容に同意したものとさせていただきます。

【第10条　免責】

当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、故意または重大な過失がある場合を除き、各々の債務不履行と因果関係の認められる通常の損害以外のものについては、責任を負いません。

【第11条　利用者の責任】

利用者に次のいずれかの事由又はこれらに類する事由が生じて、当社、当社関係者（役員や従業員を含みますが、これに限られません。以下、併せて「紛争関係者」といいます。）又は利用者と第三者とのあいだで紛争が生じた場合、利用者は、紛争関係者と協議の上、自己の名前と責任、費用でそれら紛争を解決することとし、紛争関係者に一切の迷惑をかけないようにしなければなりません。なお、紛争関係者は、利用者から補償を受けることを前提に、自己の名前と責任、費用で当該紛争を解決する権利を留保します。

・本規約に違反し、又は違反するおそれがあること
・当社に対して何らかの情報が提供されたこと
・第三者に対する権利侵害があったこと
・本ソフトウェア等又は本サービスが損傷又は毀損されたこと

なお、利用者は、同紛争を解決するため、自己の判断で代理人を選任することができますが、利用者が紛争関係者の代理人を選任する場合、当該紛争関係者の同意を得なければなりません。利用者は、紛争関係者の事前の書面による同意を得ることなく、紛争関係者の不

利益になるような合意をすることはできません。

【第12条　完全合意等】

本規約、本製品に関する保証、当社プライバシーポリシー又は当社サービス（修正されたものも含みますが、これに限りません。）は、これらの利用に関して、利用者と当社との間の完全合意であることとします。

当社による本規約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄するというものではありません。仮に本規約の一部が関係法令等により無効になったとしても、それ以外の部分は本規約の趣旨に鑑みて有効に存続するものとし、利用者に適用されるものとします。

原権利者又は第三者プロバイダーは、本規約における受益者として取り扱われることがあります。本規約は、適宜適切に、原権利者又は第三者プロバイダーのために適用されるものとします。

本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合、当社と利用者とは、誠実に協議し、これを解決するものとします。

【第13条　存続期間等】

利用者が本規約に違反した場合、又は本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、事前の通知なく直ちに本規約を解除することができるものとし、このような解除がなされるまでの間、本規約は有効に適用されるものとします。

なお、このような解除がなされた場合、利用者は、本製品、本ソフトウェア等その他これらの複製品を直ちに廃棄又は返還しなければなりません。また、利用者は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに対し、このような解除がなされたことに伴い、費用の償還を求めることはできないものとします。

【第14条　準拠法、裁判管轄】

本規約の準拠法は、日本国の法律とします。本規約に関わる一切の紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

仕様

種類	レーザープロジェクター	
形名	RLC-V7R MAX	RLC-V7R
外形寸法	246mm×246mm×286mm	246mm×246mm×254mm
質量	6.5kg	5.5kg
光源	レーザーダイオード	
表示方式	1チップ　DLP方式	
光源寿命	25000時間※1	
騒音レベル	28dB※2	
スピーカー	フルレンジ 2個、ウーファー 1個	フルレンジ 2個
音声出力	実用最大出力 40W（10W+10W+20W）（同時駆動、JEITA）	実用最大出力 20W（10W+10W）（同時駆動、JEITA）
消費電力	180W（待機時 0.5W）	
電源	電源 ACアダプター 入力　AC 100V　50/60Hz共用 出力　DC36.0V 5.0A	

入力・出力端子	HDMI入力	HDMI入力 2系統(eARC/ARC：HDMI入力1のみ対応)
	USB1(AV周辺機器専用)端子	USB3.0、定格出力：DC 5V 900mA MAX
	USB2(AV周辺機器専用)端子	USB2.0、定格出力：DC 5V 900mA MAX
	AUDIO端子	口径3.5mmステレオミニジャック
	OPTICAL端子	光デジタル音声出力　1系統
	LAN端子	RJ-45
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）

※1 光源の明るさが半減するまでの目安時間であり、保証するものではありません。使用条件や使用環境によって変動します。
また、光源の寿命よりも先に修理や部品交換が必要になる場合があります。
※2 25℃、使用開始の時点。周囲の温度や動作条件によって変動することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

サポートメニューのよくあるご質問(FAQ)やチャット、メール、LINEでお問い合わせいただけます。

https://v-ivr-cs.regza.com/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)

0120-97-9674

- IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
  03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、前ページに記載の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。
保証期間（ご購入後1年間）を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書（裏表紙）

- 所定事項記入のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間…お買い上げの日から1年間です。

- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
- 訪問修理を依頼され、レーザープロジェクターに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

- レーザープロジェクターの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のプロジェクターに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～持込修理

- 「困ったときには」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を待機にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■ 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■ 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

修理品をお引き取り依頼をする場合は、保証期間中でも輸送料はお客様負担となります。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	レーザープロジェクター
形名	RLC-V7R、RLC-V7R MAX
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印などもあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　－

廃棄時にご注意願います

● 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。



愛情点検

ご使用の際このような症状はありませんか？	ご使用中止
• 電源を入れても映像や音が出ない。 • 映像が時々、消えることがある。 • 焦げ臭いにおいがしたり、煙が出たりする。 • 電源を切っても、映像や音が消えない。 • 内部に水や異物が入った。	このような場合は、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検･修理をご相談ください。 ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

メモ

TVS REGZA株式会社

〒212−0013　神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西口ビル)

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TV/O 1326467 RSAG2.025.9428SS D1

©TVS REGZA CORPORATION 2025